

デンカハードロックⅡ

金属用接着剤 ボルトロックシリーズ

1 はじめに

ボルトロックシリーズは、既に約25年経過した当社アクリル系接着剤開発の歴史において当初より力を注いできた金属接着技術から生まれた信頼性の高い接着剤です。

2 特徴

- ①油面接着が可能
従来のエポキシ系接着剤では接着が難しかった油面の接着が可能です。油面はウエス拭き程度で良好な接着性能が得られます。
- ②常温速硬化、 -5°C 以下でも硬化
常温で速硬化です。 -5°C 以下でも硬化可能です。エポキシ系接着剤より工期が短縮できます。
- ③バランスの取れた接着性能
剪断接着強さのみならず、剥離接着強さ・衝撃接着強さもすぐれ、バランスの良い性能を有しています。
- ④取扱が簡単
計量はエポキシ系接着剤ほど神経を使う必要はありません。また経験の少ない方でも確実に計量・混合ができるよう2液シリンジタイプを用意しています。

3 性状・特性

品 種		ボルトロック1		備 考
用 途 等		鋼板接着全般		
性状・性能		単 位		
外 観	A剤	—	A剤：緑色系粘稠液	
	B剤	—	B剤：赤色系粘稠液	
粘度 (25℃)		mPa・s	20,000	JIS K-6838
比重 (23℃)		—	1.01	JIS K-6833
硬化体硬度		D硬度	58	JIS K-7215
可使時間 (固着時間)		分	約3 (約14)	JIS K-6833 23℃
引張剪断接着強さ	鉄	MPa (kgf/cm ²)	22.3 (228)	JIS K-6850 ブラスト処理
	ステンレス SUS304	MPa (kgf/cm ²)	19.7 (201)	JIS K-6850
	アルミ A-5025	MPa (kgf/cm ²)	19.7 (201)	JIS K-6850 ブラスト処理
	ポリエステル FRP	MPa (kgf/cm ²)	5.6 (57)	JIS K-6850 ブラスト処理
	エポキシ FRP	MPa (kgf/cm ²)	6.1 (62)	JIS K-6850 ブラスト処理
剥離接着強さ 鉄/鉄		kN/m (kgf/25mm)	5.4 (13.9)	JIS K-6854
衝撃接着強さ 鉄/鉄		kJ/m ² (kgfcm/cm ²)	21.7 (22.1)	JIS K-6855
消防法分類		—	第4類石油1類	

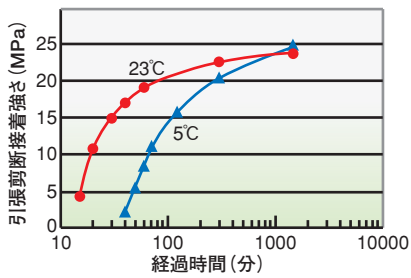
固着時間：初期強度（そっと動かしてよい程度の接着力）が発現する時間

剪断接着強さの高い品種（ボルトロック2・3）、低臭品（ボルトロック6）、また大口径鋼管接合用品種（ボルトロックT3）なども用意しております。ご相談ください。

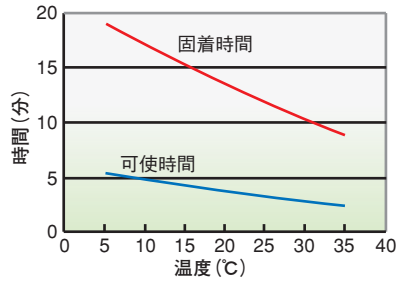
Denka

4 技術データ

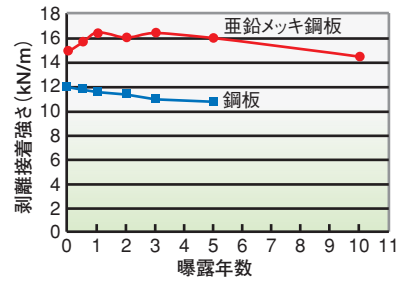
■ボルトロックⅠ 温度と接着強さ発現時間



■ボルトロックⅠの可使時間と固着時間



■ボルトロックⅠの屋外曝露耐久性



5 施工例



電源ボックス組立



プレス耐震補強施工



二次製品型枠組立

6 荷姿

5kgセット (A剤・B剤とも2.5kg)、300mlシリンジ、50mlシリンジ

7 使用法

- 接着面の錆・汚れを落とし、余分な油はウエスなどで取り除いてください。また接着面が塗装されている場合は、塗装をサンドペーパーまたはサンダー等で除去してください。
- 塗布についてはマニュアルガンや専用塗布機のご使用をお奨めします。マニュアルガン等を使用しない場合は、A剤とB剤の割合がほぼ1:1になるように接着面に重ねて塗布し、素早く混合・接着してください。
- 塗布量は塗布面の状態で異なりますが、接着剤が接着部全体に広がる量としてください。(目安として約300g/m²です。)
- 接着作業はA剤とB剤の接触した時から圧縮までの時間が可使時間以内になるようにし、固着時間が過ぎるまで圧縮してください。(混合後の作業時間は、各技術資料の可使時間のグラフを参考にしてください。)

◇データ等記載内容についてのご注意

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の担当部門にご用意してありますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。



- ハードロックⅡは消防法の危険物に該当しますので作業場は火気厳禁としてください。
- 一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。
- 皮膚や衣服に付着したりするとかぶれるおそれがありますので早めに石けんで洗ってください。万一、かぶれた場合には医師の手当を受けてください。
- 作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護ゴム手袋、必要に応じて有機ガス用マスクなどの保護具を着用してください。
- 目に入れたり、飲んだり絶対にしないでください。誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当を受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当を受けてください。
- ハードロックⅡは湿気や金属との接触を避け、密栓のうえ冷暗所に保存してください。

Denka

デンカ株式会社

本社
東京都中央区日本橋室町2-1-1 (日本橋三井タワー) 〒103-8338
セメント・特混事業部 特殊混和材部 電話03-5290-5363



この製品は、その品質/環境マネジメントシステムがISO9001/ISO14001に適合しているとして、認証・登録された工場で製造されました